

企業の女性活躍推進事業【福井県】

個別事業費	9,865 千円
交付金額	4,933 千円

地域の実情と課題

【福井県の現状】

R2国勢調査

女性の就業率	55.6%(全国2位)
女性の正規雇用率	54.6%(全国6位)
共働き率	61.2%(全国1位)

【福井県の課題】

管理職に占める女性の割合 13.5%(全国41位)

事業の特徴

- ・トップダウンによる積極的な女性活躍を推進するため、経営者を対象とした講演会および勉強会を開催
- ・社会保険労務士を個別企業に派遣し、総務・人事担当者へ女性活躍推進を直接働きかけ
- ・社外メンター派遣により管理職候補の女性に対し相談支援

事業の効果

- ・経営者向け講演会には、経営者等113名が参加し、県内企業の女性活躍に対する意欲が向上した
- ・女性活躍推進コンシェルジュによる企業訪問を361回行い、ふくい女性活躍推進企業登録、管理職登用計画の策定等を支援し、社内での育成方針や体制が整った
- ・県内企業で働く女性社員に対し、社外メンターを29回派遣し、相談機会の創出を支援した

目的・目標

【目的】

女性が時間と心のゆとりを持ち、なりたい自分や叶うキャリアを実現する環境づくりを支援する

【目標】

ふくい女性活躍推進企業登録数 450社(令和8年度末)

→ 実績:1,026社

女性管理職比率 20.0%(令和6~8年度の3か年平均)

→ 実績:17.50%(令和6年調査)

連携団体

- ・ふくい女性活躍推進企業 1,026社(令和8年3月末時点)
- ・福井県経営者協会
- ・ふくい女性財団 等

今後の課題

「ふくい女性活躍推進企業」の登録数は目標を上回って増加しており、今後は「量」から「質」へと、各企業が具体的な取組みを進めるため、優良企業の好事例を波及していく必要がある。また、企業の男女間賃金差異の公表対応と差異の要因把握・課題解決を支援することを通し、女性管理職比率の上昇や男女間の賃金格差の解消にもつなげていくことが必要である。

事業の概要

○企業・団体のトップに対する女性登用の働きかけ

内 容：・県外の先進企業を講師として、経営者向けの講演会を開催
県内企業・団体のトップに対して、女性活躍の意義や必要性、
企業内の具体的な取組みや効果を普及啓発することにより、
女性活躍を経営課題として捉え、積極的に推進するよう働きかけ
・あわせて講演会後に勉強会を開催
参加者同士で各企業内の取組や課題について共有を実施

実 績：講演会参加者 113名



(経営者向け講演会)

○女性活躍推進コンシェルジュによる管理職登用の取組み促進

内 容：社会保険労務士が企業経営者や総務人事担当者を訪問し、「ふくい女性活躍推進企業」
への登録の働きかけや、女性管理職登用の重要性やメリットを説明し、女性管理職登用
計画や男女間賃金格差是正計画の策定等を支援

実 績：コンシェルジュによる企業訪問数 361件



○企業への社外メンター派遣

内 容：・ふくい女性活躍推進企業を対象に、社外メンターの派遣を希望
する企業へ、ふくい女性財団社外メンター(約20名が登録)を
初回1回につき無料で派遣
・社外メンター向けに勉強会・交流会を開催し、メンターのスキル
向上や情報交換を実施

派遣先：ふくい女性活躍推進企業で働く女性社員
(管理職候補の女性社員、女性管理職等)

派遣回数：29回

勉強会・交流会：2回



(メンター勉強会・交流会)

(メンター派遣募集チラシ)